

総合計画審議会からの意見

東日本大震災・原発事故から8年目を迎え、復興・創生期間が残る2年余りとなる中で、避難者の生活再建や風評・風化など、いまだ多くの課題が残されている。総合計画に掲げる「夢・希望・笑顔に満ちた“新生ふくしま”」を実現するためには、本県の実情を踏まえ、復興・再生への取組を着実に進めるとともに、今後の人口減少・少子高齢化の進展も見据えながら、持続可能な地域社会をつくるため、以下のような取組を進めていく必要がある。

1 安心して子どもを産み育てられる環境の整備

- (1) 妊娠・出産・子育てに対する不安や負担感を軽減するための包括的で切れ目のない支援の充実

2 子どもたちが心豊かにたくましく育つ社会の実現

- (1) 子どもたち一人ひとりの傾向を把握し、基礎学力に加え、思考力や表現力などを高めるための教育の充実と教員に対する支援
- (2) 放射線に関する科学的に正確な知識を身につけ、自ら判断し、行動するための力を育成するための教育の充実
- (3) 子どもの尊厳を守り健やかな成長を支えるため、いじめや不登校、児童虐待などの未然防止策の強化と心理的ケアの充実
- (4) 子どもの頃から地域（郷土）の魅力とともに外の世界に触れる機会の確保と充実



3 地域資源を生かした地域活性化の推進

- (1) 若い世代の「地元志向」や「田園回帰」の潮流が見られる中で、若者が農業や地域活性化に参加・挑戦できる環境づくりと支援の充実
- (2) 地域おこし協力隊と地域住民とが一体となり地域の課題解決を図るための双方に対する支援
- (3) 定住・二地域居住の更なる促進に向けたきめ細かな情報発信及び、定住への支援と受入側に対するサポートの充実
- (4) 農地や森林の適切な整備・管理と担い手を育成する仕組みの構築



4 避難者の生活再建支援

- (1) 避難を続けている県民・事業者への多様な生活再建支援

人と地域

1 風評払拭とブランド力向上に向けた取組の推進

- (1) 風評払拭のための正確な情報と県産農産物の魅力の更なる発信
- (2) 国内外にアピールできる、魅力ある商品の開発・販売への支援

2 観光・交流の拡大に向けた取組の推進

- (1) 観光資源のストーリー化など、県内への観光・教育旅行の回復に向けた取組の更なる推進
- (2) 外国人観光客に対する地域の魅力の効果的な発信と受入体制の充実

3 若者の県内定着・還流に向けた取組の推進

- (1) 新たな産業の集積・育成と既存（地場）産業の振興による、若者の定着・還流の受け皿となる魅力ある雇用の場づくりと、求職者と企業等とのマッチング等の支援の強化
- (2) 若い世代が本県に来たい、戻りたいと思えるような、本県に住み、働く魅力の効果的な発信
- (3) 新卒者の早期離職防止に向けた対策と離職後のサポート体制の充実・強化

4 雇用・産業人材の育成

- (1) 中長期的な人手不足に対応するための、女性や高齢者の活躍の場の確保及び生産性の向上と産業人材の育成・能力開発の取組強化



活
力

1 医療提供体制の維持のための取組の推進

- (1) 医療人材の偏在対策と人材確保のための取組の一層の推進

2 健康づくり・健康増進に向けた取組の推進

- (1) 本県の自然、文化、豊かな食材など多彩な地域資源をいかし社会参加を進めることによる健康づくりの推進、健康寿命の延伸

1 思いやりと誇りあふれる地域づくりの推進

- (1) 地域における世代間の交流の促進と、子どもたちが自然と触れ合う機会の確保・充実を通じた地域への愛着、誇りの醸成



安全と安心

思いやり

県の対応方針（案）

1 安心して子どもを産み育てられる環境の整備

- (1) 妊娠・出産・子育てにわたる切れ目のない支援の提供に向け、市町村とともに連携を図りながら、子育て世代の多様な保育ニーズに応えられるよう子育て環境の整備に取り組んでいきます。また、待機児童の解消に向け、保育所等の整備に対する支援や保育人材の確保にも努めていきます。

2 子どもたちが心豊かにたくましく育つ社会の実現

- (1) 学力に加え、思考力や判断力、表現力など、児童・生徒一人一人の資質・能力を高める教育の充実にも努めていきます。併せて、教員の業務負担の軽減を図り、児童・生徒と向き合う時間を確保していきます。
- (2) 子どもたちが健康で安全・安心な生活を送ることができるよう、放射線に関する正確な知識を身につけ、正しく判断し、行動できる力の養成に努めていきます。
- (3) 子ども一人一人が健やかに成長できるよう、いじめや不登校、児童虐待の未然防止、迅速かつ適切な対応に関係機関が連携して取り組むとともに、子どもが相談しやすい体制整備など心理的ケアの充実にも努めていきます。
- (4) 子どもたちが地域（郷土）と関わりのある様々な体験活動や、国内外で多様な知見に触れることのできる機会の確保・充実に努めていきます。

3 地域資源を生かした地域活性化の推進

- (1) 本県への将来的な定住・二地域居住につなげるため、県外の若い世代に向けた多様な交流や地域参画施策の構築・充実に努めていきます。
- (2) 地域住民が主体的に取り組む地域づくり活動や地域おこし協力隊員が地域づくりの担い手として活動できるよう支援していきます。
- (3) 本県に住み、暮らすことの魅力の効果的な発信と、移住希望者に寄り添ったきめ細かな相談や受入体制の整備・充実に努めていきます。
- (4) 遊休農地の活用や森林の間伐等により、農地や森林の整備と管理に努めるとともに、次世代を担う農業や林業の担い手の育成・確保に努めていきます。

4 避難者の生活再建支援

- (1) 避難生活を続けている県民の方々や事業者に対し、避難元・避難先の自治体や支援団体等と連携し、生活再建への各種支援を行っていきます。

1 風評払拭とブランド力向上に向けた取組の推進

- (1) 放射性物質検査結果の正確な発信に加え、GAP（農業生産工程管理）等の取組による県産品の品質の高さとおいしさを効果的に発信し、風評払拭とブランド力向上を図っていきます。
- (2) 「ふくしまプライド。」をアピールする魅力ある商品開発への支援や効果的なプロモーションにより、県産品の販路拡大に取り組んでいきます。

2 観光・交流の拡大に向けた取組の推進

- (1) 食や自然、伝統文化など本県の多彩で魅力ある観光資源のストーリー化や、福島だから体験できるホープツーリズムの推進、近隣県等と連携した広域展開、本県ゆかりのコンテンツを活用した新たな魅力の創出等により、国内外からの誘客促進を図っていきます。
- (2) 東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けて、外国人観光客に響く本県の魅力の発信と、安全・安心の確保のための多言語化を進めていきます。

3 若者の県内定着・還流に向けた取組の推進

- (1) 新たな時代をリードする産業の育成・集積や、地域経済を支える既存企業の振興、事業承継への支援等により、魅力ある雇用の場づくりに努めるとともに、求職者と企業等とのきめ細かなマッチング支援を行っていきます。
- (2) 県内外の学生に対する県内企業の情報発信や、就職相談から職場定着までの窓口の一本化等により、若い世代の本県への定着・還流に取り組んでいきます。
- (3) インターンシップやキャリア教育等により在学時から職業意識の醸成を図るとともに、離職防止や離職後のサポートのため、関係機関が連携し、相談・支援体制の充実に努めていきます。

4 雇用・産業人材の育成

- (1) 女性や高齢者が働きやすい環境づくりを進めるとともに、AI・IoT等を活用した生産性向上に向けた取組への支援や、本県産業を支える知識・スキルを兼ね備えた人材の育成に取り組んでいきます。

1 医療提供体制の維持のための取組の推進

- (1) 医療人材の不足と地域偏在の解消に向けて、学生が地域医療の現場に触れる機会や、県内外からの人材確保と定着の促進、キャリア形成支援等の取組を進めていきます。

2 健康づくり・健康増進に向けた取組の推進

- (1) 適切な食習慣の普及・啓発、気軽に取り組める健康づくり事業、高齢者の運動習慣や社会参加の機会づくり等により、健康指標の向上と健康寿命の延伸を目指していきます。

1 思いやりと誇りあふれる地域づくりの推進

- (1) 学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てていくという視点に立ち、世代間の交流や、学校内外での自然体験活動の機会の確保・充実により、子どもの地域に対する愛着心や誇りの醸成に努めていきます。